

## 2019年度 大学院経営管理教育部 (専門職学位課程)

## 入学試験問題 (一般選抜)

## 【経済学】

## 第1問

1. (1) ~ (5) の用語を簡単に説明しなさい。

- (1) 代替効果と所得効果
- (2) 厚生経済学の第1定理・第2定理
- (3) 外部効果と公共財
- (4) モラルハザードとアドバースセレクション
- (5) ナッシュ均衡と囚人のジレンマ

2. 以下の問いに答えなさい。

ある家計の効用関数が  $U = xy$  で与えられるとする。所得を 2 万円、X 財の価格を 100 円、Y 財の価格を 200 円とする時、効用最大化をもたらす X 財の最適消費量  $x^*$  はいくらか。また、Y 財の最適消費量  $y^*$  はいくらか。

3. 以下の問いに答えなさい。

同じ財 X を生産する企業 1、企業 2 からなる複占市場において、X の需要関数が、  
 $P = 20 - 0.5(Q_1 + Q_2)$

P: 財 X の価格、 $Q_1$ : 企業 1 の生産量、 $Q_2$ : 企業 2 の生産量

で示されるとする。また、総費用関数は企業 1、企業 2 共に、

$TC = 2Q_i$  (ただし、 $i = 1, 2$ )

で示されるとする。この時、クールノー均衡における企業 1、企業 2 の生産量はいくらか。

## 2019年度 大学院経営管理教育部 (専門職学位課程)

## 入学試験問題 (一般選抜)

## 【経済学】

## 第2問

以下の問い全てに答えなさい。

1. リンゴとミカンの2財のみを生産して消費する国を考えなさい。この国の2010年と2015年のデータは以下のとおりである。

財	2010年		2015年	
	数量	価格	数量	価格
リンゴ	200 kg	2ドル/kg	250 kg	4ドル/kg
ミカン	200 kg	3ドル/kg	500 kg	4ドル/kg

- 2010年を基準年とし、それぞれの年の名目GDP、実質GDP (固定価格表示)、GDPデフレーター、CPI型の固定ウェイト価格指数を計算しなさい。
  - 2010年から2015年にかけて物価は何パーセント上昇したか。ラスパイレスとパーシェの2つの物価指数の変化率を計算し、その相違の原因を説明しなさい。
2. 以下の方程式で示されるケインジアン閉鎖経済を考えなさい。

$$Y = C + I + G, \quad C = 300 + 0.6(Y - T), \quad I = 700 - 80r, \quad (M/P)^d = Y - 200r$$

ここで $Y$ は実質生産、 $C$ は民間消費、 $I$ は投資、 $r$ は実質利子率(%)、 $(M/P)^d$ は実質貨幣需要である。政府の財・サービス購入 $G$ と税収 $T$ はともに500、貨幣供給 $M$ は3000、物価水準 $P$ は3とする。

- IS曲線とLM曲線の2式をそれぞれ導き、両曲線をグラフで示しなさい。そして均衡利子率と均衡実質生産を求めなさい。
- 政府が財・サービスの購入を500から700に増やしたとする。貨幣供給を一定と仮定した場合の均衡利子率と均衡実質生産を求めなさい。1)で示したグラフを用いて、この政策変更が経済にもたらす効果を説明しなさい。
- 政府購入を元の500に戻した状況を仮定し、総需要曲線の式を導き、それを別のグラフで示しなさい。政府購入が2)のように変化したとき、この総需要曲線はどのようにシフトするか。

(次ページに続く)

3. 以下の方程式で示されるソローの成長モデルを考えなさい。

$$Y = K^\alpha (LE)^{1-\alpha}, \quad \Delta K = sY - \delta K, \quad \Delta L = nL, \quad \Delta E = gE$$

ここで $Y$ は総産出量、 $K$ は資本、 $L$ は人口、 $E$ は労働の効率性、 $\alpha$ は資本所得の割合を示す係数、 $s$ は貯蓄率、 $\delta$ は資本減耗率、 $n$ は人口増加率、 $g$ は労働増大的技術進歩率である。 $\Delta$ はそれぞれの変数の変化量を示す。

- 1) 有効労働者1人当たり産出 $y \equiv Y/(LE)$ を有効労働者1人当たり資本 $k \equiv K/(LE)$ の関数、 $y = f(k)$ 、として導きなさい。さらに $k$ の変化、 $\Delta k$ 、を示す式を導きなさい。
- 2) 経済が定常状態にあるとき、総産出量 $Y$ 、労働者1人当たり産出 $Y/L$ 、有効労働者1人当たり産出 $y$ はそれぞれどのような率で成長するか。
- 3) 経済が初期時点で定常状態にあると仮定する。貯蓄率が上昇したとき、人口増加率が上昇したとき、それぞれ有効労働者1人当たり資本はどのように変化するか、グラフを用いて説明しなさい。